

輝け兵庫の星

リオ 東京五輪へ 12

最終回
ホープ2
道男子66
体大)は
に世界の
カヌー女

カヌー女子

多田羅英花 (武庫川女大出身)

ターニングポイント

その目を思い出し、息苦しくなるという。昨年11月、リオ五輪アジア最終予選の前夜、出場予定だったカヤックシングル500級の代表選変更を通告された。5月に代表に決まっていた。この一点に照準を絞って過酷な練習を繰り返してきた。すべてが無駄になった気がした。翌日、代わりの選手のレースを見ながら涙が止まらなくなった。帰国後は引退も考えた。昨春まで所属した武庫川女大カヌー部の艇庫

「逃げるな」コーチの一言で再起

新フォーム習得に挑む

に、恩師を訪ねた。橋本千晶コーチの言葉は痛烈だった。「逃げるな」。夢だった東京五輪への情熱がよみがえってきた。多田羅は今、新フォーム習得に挑んでいる。世界選手権×オーストラリア北本忍さん(武庫川女大出)も指導を受けたルーマニア人コーチに教えを請い、一歩ずつ変化する自分になろうとしている。3月26日、今季初戦の府中湖カヌーレカッタで優勝した。長いトンネルをやっと抜けることができた。橋本コーチに優しい言葉を覚えてもらっていたら、あの瞬間から成長することはなかった。今では苦悩した昨季の経験さえ、自らの強みだと思える。(永見将人)



仁川アジア大会で力漕する多田羅英花=2014年9月、韓国・河南

たら・ひでか、1999年9月の日生まれ。中学1年で競技を始め、武庫川女大で頭角を現した。2013年にシヨナルチーム入り。14年の全日本学生選手権では5種目制覇。同年の仁川アジア大会カヤックフオア500級4位。15年世界選手権代表。1508。香川県坂出市出身。